

Q14 順番が待てないなど、友達とのトラブルが多い子どもにはどう対応したらよいでしょうか

子どもの状態

遊びの最中にいきなり自分のしたいことをしたり、相手を傷つける発言をしたりする。

ゲームのルールを無視して行動したり、それが元で友達とトラブルを起こしたりする。

自分の順番が待てない。
いつも一番になりたがる。

状態の理解のポイント

- ・ 状況の認知がしっかりできていない。
- ・ 他人の気持ちを理解したり、自分の気持ちを表現したりすることが難しい。
- ・ 自分の衝動をコントロールする力が弱い。
- ・ ルールの理解ができていない。
- ・ 順序性を理解できなかったり、記憶できなかったりする。

考えられる対応

状況や相手の気持ちを知らせるようにする。

- ・ 子どもが行動を起こしたときの状況を説明したり、相手の気持ちを説明したりする。
- ・ 様々な機会に、読み物等を通して他人の気持ちの動きを理解させたり、必要に応じて役割演技により共感的理解をさせたりする。(図113)

ルールの理解を促す。

- ・ なるべくルールが単純な理解しやすいゲームに誘うようにする。また、必要に応じてルールを簡略化する。
- ・ 分かりにくいルールについては、図示したり、実際にやって見せたりして理解を促すようにする。

よさを認めたり、成功経験を重ねさせたりすることで、自己評価を高め、プライドをもたせることで自己コントロール力を高めるようにする。

順番を守れるような手だてをする。

- ・ 順番が分かりやすいように並ぶ。(図114)
- ・ 順番を守ることで楽しく遊べることを知らせる。

一番になれないときの気持ちの表し方や態度のモデルを大人が示すようにする。(図115)

家庭でも簡単なルールのゲーム等を通して、順番や順位の理解を促し、望ましい態度の形成を図るようにする。



図113 ロールプレイ



図114 並び方



図115 大人のモデル